

平成27年8月教育委員会定例会 会議録

平成27年(2015)8月25日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	成 相 善 美
教育委員(委員長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 会議に欠席した委員

教 育 委 員	松 浦 剛 司
---------	---------

3. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	安 井 孝 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	竹 田 博 司
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	松 井 博 之

4. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

5. 傍聴者

2 名

開会

(成相委員長) 只今から、平成27年8月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(成相委員長) それでは、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。赤木教育部次長に進行をお願いします。

(赤木次長) 只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、平田地区子ども見守り協議会様、平田小絵本読み聞かせの会様です。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申しあげます。

(ご功績の紹介)

それでは、成相教育委員長から感謝状を贈呈します。皆様、ご起立ください。委員長、前へお願いします。お名前をお呼びいたしますので、前の方へお進みください。

「平田地区子ども見守り協議会様。」

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) 平田小絵本読み聞かせの会様はご欠席でございますので、後ほど感謝状をお届けいたします。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了いたします。どうぞ大きな拍手でお送りください。

2. 進行の承認

(成相委員長) それでは最初に、教育部次長から発言が求められておりますので、これを許可いたします。

(赤木次長) 議第28号で、「平成28年度に使用する中学校用教科用図書の採択について」を上程いたしますが、出雲採択地区教科用図書採択協議会においては、情報公開の期日を平成27年9月1日と定められておりますので、この件については非公開でご審議をお願いしたいと思います。なお、本定例会の議事録の公開は9月になってからですので、議事録は公開いたします。出雲市教育委員会会議規則第17条第1項により、「委員長又は委員の発議により、出席委員の三分の二以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」、との規定により、議決をいただきたいと思います。

(成相委員長) それでは、今説明がありましたように、「議第28号 平成28年度に使用する中学校用教科用図書採択について」は、非公開とすべきと考えます。お諮りをします。議第28号の審議について、非公開としてよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) 出席委員の三分の二以上の4名の賛成がありましたので、議第28号の審議は非公開と致します。なお、審議は日程の最後に行い、そのほかは、順次審議してまいります。

3. 会議録の承認

(成相委員長) それでは会議録の承認に入ります。7月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に意見等ありませんので、7月定例会の会議録については承認といたします。

4. 教育長行政報告

(成相委員長) 次に、行政報告について、榎野教育長に報告願います。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H27.7.29 地域別校長会①
- H27.7.31 校長会役員との懇談会
- H27.8.3 地域別校長会②③
- H27.8.4 地域別校長会④
- H27.8.5 地域別校長会⑤
- H27.8.7 主幹教諭連絡協議会
- H27.8.7 県学校栄養士会総会・研修会
- H27.8.9 戦没者追悼・平和祈念式典
- H27.8.10 保幼小連携推進研修会
- H27.8.22 同和教育講演会
- H27.8.25 市町村教育委員会連合会県要望活動

H27.8.25 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

H27.8.31 市議会初日 ～9.29

H27.9.1 市防災訓練

H27.9.3 市議会一般質問 ～9.8

H27.9.8 少年の主張出雲市大会

H27.9.10 市議会文教厚生常任委員会

H27.9.11 校長の会議

H27.9.14 コミュニティセンター運営協議会

H27.9.15 市議会予算特別委員会 ～9.16

H27.9.17 市議会決算特別委員会 ～9.25

H27.9.24 定例教育委員の会議

(3) 要望受理状況

H27.8.17

「高浜幼稚園移転新築に関する陳情」

「高浜幼稚園における預かり保育の実施に関する陳情」

高浜地区自治協会会長、高浜土木委員長、高浜奨学会会長、高浜幼稚園運営協議会会長、高浜幼稚園愛育会会長

(成相委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(各教育委員) なし。

5. 協議

(成相委員長) それでは、最初に「学力調査結果の学校別結果の公表について」協議にはいります。今年度の公表のあり方について、委員の皆さんの意見をお願いします。

(本田委員) ちょっと、確認させていただいてよろしいですか。去年との違いは、去年は全学年あったものが、学年別になっていますね。

(杉谷部長) 昨年度は、全国学力学習状況調査と、島根県の学力調査が同じような時期に実施され、結果の返却があっていますので、学年が多岐にわたっておりましたが、今回は小学校6年と中学校3年の、国語、算数、数学及び理科というものに内容が限られておられますので、その調査についての分析ということです。

(本田委員) 点数、平均点は、無いのですね。

(槇野教育長) これは、これで公表するというのではなくて、去年と同じやり方にす

ると今年はこの形になりますということで、参考までにつけてあるだけです。

(本田委員) 去年は、点数はなかったですね。

(槇野教育長) 去年は公表用としては、数値を出さずに文言で、各学校の状況を表現して出していますので、数値は公表していません。

(下手委員) 公表の仕方としては、昨年度あれだけ長い時間をかけて話し合っただけで済ませ、校長先生方、保護者、市P連の話を聞いても、まだそれが浸透しているという感じではありませんので、今年も同じような公表の仕方をして、それを浸透するという事を考えていった方がいいと思います。

(槇野教育長) そうですね。

(成相委員長) 校長先生の話を聞いても、反応が非常に薄いということでしたので、やはり去年並みの形を取りながら、じっくりと進めていくのも大事だと思います。

(下手委員) 公表の資料については、保護者向けはもう少し分かりやすいとか、そういうことは一考の余地があるのかなど。あれだけ意見が出ましたし、私自身読んでも、少しわかりにくいという気もしますので、そのあたりを考えてもいいかなという気がしました。

(成相委員長) PTAの役員さんたちも、見方について理解されていない部分が多いので、公表したものについて関心を持つような機会を持ってもらいたいという気がします。

(槇野教育長) 今事務局で考えていますのは、家庭向けに市全体の意識調査の結果で、特に家庭にお伝えしたいポイントをダイジェストのような形で別に作って、保護者にお配りしたいということを考えています。ですから、主に生活習慣や家庭学習のこと、そういったことになろうかと思いますが、家庭で力を入れていただきたいものをポイントを絞って配ろうと、内部で検討をしているところです。この学力調査結果の公表については、市P連の役員の皆さん、それから校長会からもいろいろ意見をお聞きしましたし、去年の結果を踏まえて考えますと、一つ残念だったのは、あまり反応がなかったというのが全体的な印象ですが、一応去年と同じスタイルで、数値を出さずに文言による表現で今年もやっていいのではないかと考えています。それは、校長会でもいろいろ意見は出しましたが、平均正答率そのものにどれだけ意義があるかという話もありましたし、それは確かにそうだと感じる部分もありますので、あまり数字だけにこだわって出す必要もないということと、数字の持つ意味というものがそんなに重要でないのか、そういう見方ができましたので、それでもいいかなということと、そうは言いながらも、今後も数値を出さないのか、公表しないのかということになると、それはまた別の話だと思っています。去年、あるいは今年までの状況を見ますと、今数値を出す必

要性というものをそんなに強く感じていないことと、先ほど申しあげましたように数字の意味合いを考えた時に、あまりこだわる必要はないかなと思っていますし、それから去年始めたばかりですから、数値を出すとか出さないとか、その取扱いはもう少し様子を見ながら、見極めていけばいいという思いで、そういう理由で去年と同じ公表の仕方ではないかと思っています。

(成相委員長) ほかにご意見ありますか。いいですか。それではそういう方針で進めていただきたいと思います。

6. 報告

(成相委員長) 議第28号の審議は日程の最後に行いますので、報告事項に入ります。まず報告(1)「9月定例会市議会への提出案件について ①補正予算案件」を、教育部赤木次長に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(成相委員長) ソフトの開発ということですが、ソフトがありますか。

(赤木次長) パッケージは全国的にあります、パッケージを使わずにゼロからということで、オロチネットの中に入りますので、一般のパッケージよりも、桁が一つぐらい違うと思います。県が、26年度に入れたのが2億5千万円と言っています。リース5年で、1年間6千万円です。県立学校と校数はあまり変わらないです。

(成相委員長) 1年で6千万円ですか。

(赤木次長) メンテは別にしてですね。うちの場合は、これにあと2つのシステムを来年度入れればそれで終了ですので、格安ですね。

(成相委員長) ものすごい格安ですね。これによってかなり、校務の軽減が図られますか。

(赤木次長) そうですね。出欠管理、これによって通知票の出欠、遅刻日数等に反映したり、それから来年になりますけれど、成績処理を入れたりすると通知票や指導要録を自分でつけなくてもできてきます。あと教務ですね、教務主任は大変だそうですが、特に中学校は出張があつて、時間割の編成が楽になります。それで先日、学校の代表の教務主任、養護教諭、校長、教頭、9人のメンバーに集まっていたきまして、どういっ

たソフトが使い勝手がいいのか、それぞれ意見を言っていたいて、3月には仮稼働させたいと思っています。業者も交えて月に1回、2回、年度末には3回、4回集まってもらわなければいけません、現場の先生方の意向に合ったものを開発したいと考えています。

(成相委員長) わかりました。次に、報告(2)「平成26年度(2014)教育委員会の事務の管理執行状況の点検・評価報告書について」、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。下手委員さん、この審議会に出られて何か感じられたことはありませんか。

(下手委員) 前回は申しあげましたが、本当に委員さんの活発な意見や厳しい意見があり、3回だけだったんですけど充実した話し合いだったような気がします。ちょっと伺いますが、この評価されたものを実際にどのように活用されるのか、これはこういうようにしましたとか、委員の人も言いつばなしなものですから、気になるところがありますが、そのところはどうか。

(赤木次長) 例年10月か11月頃に再度集まっていたいて、この意見を受けまして担当課が内部協議した結果を報告させていただいています。

(成相委員長) では次に、報告(3)「教育委員会の人事異動について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(3)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に、報告(4)「平成27年度出雲市の教育に関する教職員提案について」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(4)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) 昨年度は、もっとたくさん意見が出ていたように思いますが、今年度は1

件というのは、出されるタイミングとかありましたか。

(安井課長) 提出を求める時期や期間は、変えておりません。ただ現実には学校現場で検討されたとは聞いていますが、もともと学校の中で解決できることは話し合いでやってください、そうできないものは上げてくださいという趣旨が浸透してきたということと、過去にたくさん出された経過もあって、同じものを再度ということにはなかなかならないのではないかと、それで過去に出されたものを既にやったものもありますし、進行中あるいは検討中というものもありまして、新たなものと考えられて少なかったのではないかと予想はしております。

(本田委員) 確かに去年はもっとたくさんありました。今年は1件ですが、保護者の立場から言うと、教育委員会の回答の③で挙げているように、今先生は一つの教室に何人も入っておられるような中で、先生の数、指導者の数が少なくなるようだったら、これはよく検討していただきたいと思いました。

(成相委員長) 新しい提案をする時に、どうしても予算が関わることが出てくると、まず財政難だから、これは出したら良くないのではないかなというようにないないように、前向きな意見はどんどん出してもらって、そこから生まれてくるものもあると思いますので、良い意見は出してほしいと思います。

(成相委員長) 次に、報告(5)「平成27年度全国中学校総合体育大会等の結果について」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(5)について、何か質問等はありませんか。

(成相委員長) 今回はずいぶん遠くでありましたが、選手の費用負担はかなりありますか。

(赤木次長) 予算は、かなりオーバーしています。これから実績で出て参りますので、補助金はかなりの金額にはなると思います。

(下手委員) 運動も音楽も絵も活躍されて、素晴らしいですね。

(成相委員長) 費用負担はありますが、そういう場に出られるときは出て、いろいろな経験をして、全国レベルが経験できるということが大事なことでと思いますので、どんどん出て行ってほしいと思います。

7. その他

(成相委員長) 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 赤木次長 に説明をお願いします。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) なし。

8. 次期教育委員会の開催時期

(成相委員長) 他に無いようですので、次期教育委員会の日程ですが、9月第4火曜日が国民の休日となっていますので、9月24日(木)午後2時から市民応接室で開催いたします。それでは、公開の会議はここまでといたします。傍聴の皆様には恐れ入りますが、ご退室頂きますよう、ご協力をお願いします。

(傍聴 退室後)

9. 議事

(成相委員長) それでは、「議第28号 平成28年度に使用する中学校用教科用図書採択について」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第28号について、何か質疑等はありませんか。

(成相委員長) 歴史の教科書を借りて帰って見ていますが、自分が中学校の時を思い出しても、あれだけのレベルのことをしていたのかと思うぐらい内容が非常におもしろくて、他のものもどう違うのか読んでみて、なかなか中味が濃いなど思いましたが、以前

からあれぐらいのレベルでしたか。

(松浦主査) 一時かなり量が多い時期がありまして、少し余裕を持ってやろうということでページ数が減らされた時代がありました。ただやはり、必要な知識についてはきちんと身に付けさせようということで、最近またページ数が増える傾向にあります。それから社会などは、使われる図や写真、表などは結構バラエティに富んだ豊富なものになって、巻末に資料として子どもたちが自主的に調べられるように、いろいろな資料について配慮が見られるのが最近の特徴です。

(成相委員長) 写真や絵も多くて、分かりやすかったですし、何よりもうれしかったのは出雲大社が載っていて、平安時代の高い建物の順番の「雲太、和二、京三」がこんなところに載っているんだと驚きました。「雲太」がその当時、一番高い建物で、大和の大仏殿、京都の大極殿というのが中学の時に習うんだと、すごく中身の濃いことを勉強しているなど、改めて思いました。

(本田委員) 保健体育はA社がいいと思いました。これは自分の生活に結びつけて学んで考えて、行動につながるような取り上げ方がしてあるし、それから資料も考えのもとになる良い資料がすごくありました。何のために保健体育を学ぶかということ、知識だけではなくて行動に結びつけないといけない、そういうことに結びつく導入の仕方、まとめの仕方だなどと思いました。先生もその方が、教えやすいと思います。

(榎野教育長) 実際、研究調査員の報告で、P社とA社がいいのではないかということでした。その中でP社が最終的に選ばれた理由は、子どもにとってのこともありますけれど、これから若い教員が増えていく中で、若い教員にとっては非常に使いやすい教科書だということのも大きな理由の一つに挙げられています。採択協の中でもいろいろな意見が出ましたが、最終的には現場で一番使いやすいものいいでしょうと、一番子どもたちのこともわかっているし、子どもにとってもいい、かつ指導者にもいいということになれば、ではそれで決定しましょうという話だったです。

(本田委員) もし私が、保健体育の教員で教えるならと思って、コミュニケーションの取り方なども、中学生は学ぶ必要があると思います。それははじめの問題にもつながることですし、そうするとA社の方がもっと具体的に、そういったことも考えるような並びになっていたように思いました。P社も良かったです。

(下手委員) 歴史はK社とA社が優れているということですが、最終的にどこがポイントで決められたのですか。

(榎野教育長) これもどちらも優れているということですが、今K社を使っていて、それを覆してA社に換えるまでの理由がない。要するに今使っているという重みというか、そういうことだったと思います。

(安井課長) それと、タイムトラベルという表紙に絵があつて、これがとにかくその時代のイメージが頭に入りやすいということでした。研究員の先生も、とにかくそこが一番で、そこからあとは遜色ありませんでした。

(下手委員) 沖縄と蝦夷の扱いが、K社の方がいいと思いました。私が本などで紹介しても、沖縄はずいぶん知っていますけれど、蝦夷の少数民族のマイノリティのことが本になっているものを紹介しても、全然ピンと来なくて、そんな人いたの、みたいな感じですが、これはいいと思いました。

(槇野教育長) 旧土人保護法のことを書いてあつたりしますね。結構、違いが随所に出てきます。

(本田委員) 何か読んでみて、記述の幅がある。歴史も見方、切り方、この部分を黙っているということは嘘ではないし、言うか言わないか、同じ事柄でもこちらの教科書は見方が違ってこんなことまで言っている、こちらはそれについてはあまり触れて無い、どちらも嘘ではないですね。K社はあまりどちらにも偏らず、という感じがしました。K社で一番魅力的に思ったのは、北方領土のところで、子どもたちもニュースなどで聞いて知りたいと思つていることの一つだと思つていますが、記述が一番分かりやすかつたのがこれでした。

(下手委員) 時代だなと思つたのは、イスラムのことなどもすごく詳しくありましたね。

(本田委員) A社とK社は、今言われるように、一つ一つの事柄を取り上げるだけではなくて、イスラムのことでイスラムを取り上げてそのことについてずっと考察するというような、そういう取り上げ方もしてあつて、そういう視点も必要だからその二社がいいと思いました。

(成相委員長) それと今まで先生方が使つておられて、これが説明がしやすいとかいうこともありますよね。そういうことはないですか。

(槇野教育長) 割と、教科書会社が変わるとのことについての抵抗みたいなものは、あまりないということでしたね。

(本田委員) 歴史に対しても、このたび学び方を変えるようなことがありますか。

(槇野教育長) 学習指導要領自体は変わっていませんので、それはないですけど、ただ今の思考力、判断力、表現力という言語活動ということに、各教科書とも重きを置いてというかそういうことを考えながら教科書ができていますので、自然と次の学習指導要領の改訂で出てくるアクティブラーニングというものが、もう大分入ってきているの

かなという感じがしています。おそらく学校でも、意識的にそういう教科書の使い方とか、活動の仕方といいますか、変わってきていると思います。

(本田委員) アクティブラーニングについては、A社が一番、いろいろな学び方とかを挙げて、そういった方向が進んでいると思いました。

(成相委員長) ほかに質問とかないですか。無いようですので、議第28号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第28号については承認します。

10. 閉会

(成相委員長) 以上をもちまして、教育委員会8月定例会を閉会します。

(15:15) 定例教育委員会閉会